

(54) SMALL SIZED COPYING EQUIPMENT

(11) 63-292760 (A) (43) 30.11.1988 (19) JP

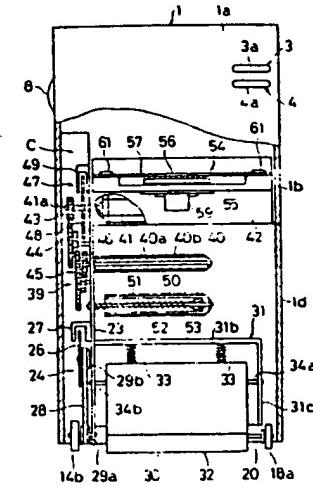
(21) Appl. No. 62-127715 (22) 25.5.1987

(71) CASIO COMPUT CO LTD (72) HARUMI NIWANO(1)

(51) Int. Cl*. H04N1/04,B41J3/28,B41J17/24,B41J17/32,B41J32/00

PURPOSE: To attain efficient assembling by providing a read unit, a print head unit and an ink tape winding unit onto a common chassis and assembling them as one block into the device main body.

CONSTITUTION: A read unit 54 provided with an image sensor 57, a print head unit 30 provided with a print head 32, and an ink tape winding unit 39 provided with an ink tape winding shaft 40 and its drive mechanism are provided onto a common chassis 23 and each unit is assembled into the device main body in the state of a chassis block. Since the read unit 54, the print head unit 30 and the ink tape winding unit 39 are assembled into the device main body altogether, the assembling is efficiently applied in comparison with a conventional small sized copying machine where each component is individually subject to position adjustment and assembled in the device main body, thereby improving the mass-productivity.



⑫ 公開特許公報 (A) 昭63-292760

⑬ Int. Cl.

H 04 N	1/04
B 41 J	3/28
	17/24
	17/32
	32/00

識別記号

府内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)11月30日

A - 8220-5C
8403-2C
8703-2C
A - 8703-2C
B - 7339-2C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全19頁)

⑭ 発明の名称 小型複写装置

⑮ 特願 昭62-127715

⑯ 出願 昭62(1987)5月25日

⑰ 発明者 庭野治美 東京都西多摩郡羽村町栄町3丁目2番1号 カシオ計算機
株式会社羽村技術センター内⑰ 発明者 広沢茂 東京都西多摩郡羽村町栄町3丁目2番1号 カシオ計算機
株式会社羽村技術センター内

⑰ 出願人 カシオ計算機株式会社 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

⑰ 代理人 弁理士 鈴江武彦 外2名

明細書

1. 発明の名称

小型複写装置

2. 特許請求の範囲

装置自体を走査移動させて原稿の読み取りおよび外部記録紙へのプリントを行なう小型複写装置であって、前記原稿を読み取るイメージセンサを備えた読み取りユニットと、前記イメージセンサで読み取ったデータをインクテープを介して外部記録紙にプリントする印字ヘッドを備えた印字ヘッドユニットと、前記インクテープの巻取軸およびその駆動機構を備えたインクテープ巻取りユニットとを共通のシャーシに設けて1つのプロックにし、このシャーシプロックを装置本体に組込んだことを特徴とする小型複写装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は小型複写装置に関するものである。

(従来の技術)

最近、装置自体を走査移動させて原稿の読み取り

および外部記録紙へのプリントを行なうハンディタイプの小型複写装置が開発されている。

この小型複写装置は、手で把持できる大きさの装置本体内に、原稿を読み取るイメージセンサと、このイメージセンサで読み取ったデータを熱転写インクテープを介して外部記録紙にプリントするサーマル印字ヘッドと、前記インクテープを巻取るインクテープ巻取軸と、このインクテープ巻取軸の駆動機構とを設けたもので、イメージセンサは装置本体の下面に設けた開口部に対向させて配置され、また印字ヘッドは前記開口部にヘッド先端が装置本体下に突出るようにして固定されている。

この小型複写装置は、手で把持されて原稿上および外部記録紙上を手動で走査移動されるもので、この複写装置を読み取りモードにした状態で原稿面に沿って走査移動させると、複写装置はその走査移動とともに原稿面の画像を順次イメージセンサで読み取り、この読み取った画像データを内部のメモリ部に記憶する。また、原稿から読み取った画

像をプリントさせる場合は、複写装置をプリントモードにし、印字ヘッドをインクテープを介して外部記録紙に接触させた状態で複写装置を記録紙面に沿って走査移動させればよく、このようにして複写装置を走査移動させると、複写装置はその走査移動にともなって前記メモリ部に記憶されている読み取り画像データを順次読み出し、この画像データに応じて印字ヘッドを駆動してこの印字ヘッドによりインクテープを介して外部記録紙にプリントするとともに、このプリント動作に応じてインクテープ巻取軸を駆動してインクテープの使用済み部分を巻取っていく。

すなわち、上記小型複写装置は、装置自身を手動で走査移動させることによって原稿の読み取りおよび外部記録紙へのプリントを行なうもので、この小型複写装置は、読み取り巾およびプリント巾は小さいが、通常の複写装置と異なって、原稿から所望の領域の画像だけを選択して読み取るとともに読み取った画像をノート等の厚みのある記録紙にもプリントすることができるし、また小型でかつ軽

驱动機構を備えたインクテープ巻取りユニットとを共通のシャーシに設けて1つのブロックにし、このシャーシブロックを装置本体に組込んだことを特徴とするものである。

(作用)

すなわち、この発明の小型複写装置は、イメージセンサを備えた読み取りユニットと、印字ヘッドを備えた印字ヘッドユニットと、インクテープ巻取軸およびその驱动機構を備えたインクテープ巻取りユニットとを共通のシャーシに設けて、これら各ユニットをシャーシブロックの状態で装置本体に組んだものであり、この小型複写装置によれば、上記読み取りユニット、印字ヘッドユニットおよびインクテープ巻取りユニットを一括して装置本体内に組むことができるから、各構成部品を1つ1つ位置調整して装置本体内に組んでいる従来の小型複写装置に比べて、その組立てを能率よく行なって生産性を向上させることができる。

(実施例)

以下この発明の一実施例を図面を参照して説明する。

量であるために携帯にも便利である。

(発明が解決しようとする問題)

しかしながら、従来の小型複写装置は、その構成部品であるイメージセンサ、印字ヘッド、インクテープ巻取軸およびその驱动機構を個々に装置本体内に組んだものであるために、複写装置の組立て時にこれら各構成部品を1つ1つ位置調整して装置本体内に取付けなければならず、そのため従来の小型複写装置は、その組立てが面倒で生産性に劣るという問題をもっていた。

この発明は上記のような実情にかんがみてなされたものであって、その目的とするところは、組立てを能率よく行なえるようにして生産性を向上させた小型複写装置を提供することにある。

(問題点を解決する手段)

この発明は、原稿を読み取るイメージセンサを備えた読み取りユニットと、前記イメージセンサで読み取ったデータをインクテープを介して外部記録紙にプリントする印字ヘッドを備えた印字ヘッドユニットと、前記インクテープの巻取軸およびその

する。

この実施例の小型複写装置は第2図および第3図に示すような外観のもので、図中1は紙長箱状をなす手で把持できる大きさの装置本体である。この装置本体1の前面には、その中央部に動作開始スイッチ2が設けられるとともに、上端側および下端側に、拡大プリント指定キー3とリセット/クリアキー4および読み取り巾指定スイッチ5が設けられており、装置本体1の背面には、電源スイッチを兼ねるモード切換スイッチ6と、電源ON表示用LED(発光ダイオード)7a、メモリ残量表示用LED7bと、印字装置の移動速度が速すぎる場合に点灯する速度警告用LED7cが設けられている。また、装置本体1の一側面には、印字速度調節つまみ8が設けられている。

この小型複写装置の構成を説明すると、この小型複写装置は、第1図に示すように、装置本体1を構成するフロントケースブロックAおよびリヤケースブロックBと、装置本体1内に設けられる

シャーシブロックCとからなっている。

フロントケースブロックAについて説明すると、このフロントケースブロックAは、第1図および第6図に示すように、装置本体1の前面側を構成するフロントケース1aの前面に、動作開始スイッチ2、拡大プリント指定キー3、リセットクリアキー4および洗取り巾指定スイッチ5とを設けるとともに、フロントケース1aの一側面に印字濃度調節つまみ8を設けたものである。上記動作開始スイッチ2は、フロントケース1aの表面に設けた大面積のスイッチ部2aと、このスイッチ部2aの中央部に対向させてフロントケース1aの内面に取付けたスイッチ基板2bとからなっており、スイッチ部2aはフロントケース1aに設けた開口部に押込み可能に嵌合されるとともに、その裏面とスイッチ基板2bとの間に設けたゴム部材9によってケース表面側に押圧されている。この動作開始スイッチ2は、スイッチ部2aの押圧操作によってONされるもので、スイッチ部2aを押圧すると、このスイッチ部2aがゴム

部材9を弾性変形させながら押込まれ、このスイッチ部2aの裏面中央部に形成されている可動接点10aがスイッチ基板2b面の固定接点10bに接触して動作開始スイッチ2がONされる。また、上記拡大プリント指定キー3およびリセットクリアキー4は、フロントケース1aに押込み可能に嵌合されたキー部3a、4aと、この両キー部3a、4aに対向させてフロントケース1aの内面に取付けたキー接点基板11とからなっており、これら各キー3、4は、そのキー部3a、4aを押圧してキー接点基板11に接触させることによってONされる。一方、洗取り巾指定スイッチ5はスライドスイッチとされている。この洗取り巾指定スイッチ5は、フロントケース1aの表面に横方向にスライド可能に設けられたスライド操作つまみ5aと、この操作つまみ5aのスライド領域に対向させてフロントケース1aの内面に取付けたスイッチ基板5bとからなっており、スイッチ基板5b面には操作つまみ5aのスライド方向に沿わせて多数の固定接点が形成され、操

作つまみ5aにはスイッチ基板5b面を滑動して前記各固定接点に選択的に接触する可動接点が形成されている。また、第1図および第6図において、12はフロントケース1a内に設けられた制御ユニットである。この制御ユニット12は、回路基板12aに複数のLSIチップ13を取付けて構成されており、上記スイッチ基板2b、5bおよびキー接点基板11は図示しないリード線によって制御回路ユニット12に接続されている。なお、図示しないが、上記回路基板12aには、上記印字濃度調節つまみ8を有する印字濃度調節用ボリュームが取付けられており、印字濃度調節つまみ8の一側部はフロントケース1aの側面に突出されている。また、14aはフロントケース1a内の下端部にその一側に近接させて設けられた第1主接紙ローラであり、この第1主接紙ローラ14aは、その下部がフロントケース1a下に僅かに突出する状態でフロントケース1aに回転可能に駆支されている。さらにフロントケース1aの下端には内方に張出す水平張出し板15が

形成されており、この張出し板15上には、原稿面を照明する横長なLEDアレイ16と、複写装置を原稿または外部記録紙上に置いたときにこれを検知する紙面検知スイッチ17が設けられている。この紙面検知スイッチ17は作動ピン17aを備えたマイクロスイッチとされている。この作動ピン17aは、常時はばね力によりフロントケース1aの下方に突出する状態に押圧されており、複写装置を原稿または外部記録紙上に置いたときに紙面に当接して押上げられるもので、紙面検知スイッチ17は作動ピン17aの押上げによってONするようになっている。

一方、リヤケースブロックBは、第1図および第6図に示すように、装置本体1の背面側を構成するリヤケース1bに、電源スイッチを兼ねるモード切換スイッチ6と、電源ON表示用、メモリ残量表示用および速度警告用の各LED7a、7b、7cを設けたものである。上記モード切換スイッチ6はスライドスイッチとされている。このモード切換スイッチ6は、リヤケース1bの表

面に横方向にスライド可能に設けられたスライド操作つまみ6aと、この操作つまみ6aに対向させてリヤケース1bの肉厚内に取付けられたスイッチ基板6bとからなっており、スイッチ基板6b面には操作つまみ6aのスライド方向に沿わせて複数の固定接点が形成され、操作つまみ6aにはスイッチ基板6b面を滑動して前記各固定接点に接触する可動接点が形成されている。この操作つまみ6aは、第3図に示したPポジション(プリントモード切換ポジション)と、Rポジション(読み取りモード切換ポジション)と、OFFポジションと、Eポジション(インクテープカセット70のイジェクトポジション)とにスライド移動されるもので、モード切換スイッチ6は、操作つまみ6aがOFFポジションにあるときは電源をOFFさせている状態にあり、操作つまみ6aがプリントモード切換ポジションPまたは読み取りモード切換ポジションRにスライドさせたときに、電源をONさせるとともに複数装置をプリントモードまたは読み取りモードに切換えるように

なっている。なお、このモード切換スイッチ6のスイッチ基板6bは、図示しないリード棒によってフロントケースプロックAの制御ユニット12に接続されている。また、第1図および第6図において、18はリヤケースプロックBの下端部に設けられた補助ローラユニットである。この補助ローラユニット18は、リヤケース1b内に上下滑動可能に設けられた昇降プレート19に、左右一対の補助接紙ローラ18a、18bを取付けたもので、補助接紙ローラ18a、18bは、昇降プレート19の両側部に両端を支承させた水平ローラ軸20に取付けられている。この補助ローラユニット18は、前記モード切換スイッチ6の操作つまみ6aのスライド操作に連動して上下動されるようになっている。すなわち、第1図において、21は上記昇降プレート19に形成された左右一対のカム溝であり、この各カム溝21は、その両端側に高低差をもつ下段側水平溝部21aと上段側水平溝部21bを形成し、中央部に上記両水平溝部21a、21bをつなぐ傾斜溝部21c

を形成するとともに、上段側水平溝部21bの終端に、上方に立上がる垂直溝部21dを形成した形状とされている。この各カム溝21には、前記操作つまみ6aに固定した一対のカム溝係合ピン22がそれぞれ滑動可能に係合されている。このカム溝係合ピン22は、操作つまみ6aのスライド移動によってカム溝21内を滑動移動するもので、このカム溝係合ピン22は、モード切換スイッチ6の操作つまみ6aがプリントモード切換ポジションPにあるときはカム溝21の下段側水平溝部21aに位置しており、操作つまみ6aを読み取りモード切換ポジションRに移動させたときは傾斜溝部21cを通って昇降プレート19を下降させながら上段側水平溝部21bの始端に移動し、操作つまみ6aをOFFポジションに移動させたときは上段側水平溝部21bの中間に移動し、さらに操作つまみ6aをイジェクトポジションEに移動させたときは上段側水平溝部21bの終端つまり垂直溝部21d下に移動する。つまり、上記補助ローラユニット18は、モード切換スイッチ

6をプリントモード切換ポジションPに切換えたときに上昇され、モード切換スイッチ6を読み取りモード切換ポジションRに切換えたときに下降されるもので、この補助ローラユニット18は、プリントモードでは補助接紙ローラ18a、18bの下端がリヤケース1b下に前記第1主接紙ローラ14aの下端とほぼ同一レベルに突出する位置にあり、読み取りモードでは補助接紙ローラ18a、18bの下端が第1主接紙ローラ14aよりも下方に突出する位置にくる。また、この補助ローラユニット18は、モード切換スイッチ6をOFFポジションおよびイジェクトポジションEに切換えたときも読み取りモードのときと同じレベルにあるが、イジェクトポジションEに切換えると、カム溝係合ピン22がカム溝21の垂直溝部21d下にきてこの垂直溝部21dに入り込める状態となるために、この状態では補助ローラユニット18をさらに下方に引下げることができる。なおこのときの補助ローラユニット18の引下げおよび元位置への復帰は手動によって行なわれる。

次に、シャーシプロックCについて説明する。このシャーシプロックCは、上記フロントケースプロックAとリヤケースプロックBとを組合わせて構成される装置本体1内に収納されるもので、このシャーシプロックCは次のような構成となっている。すなわち、第1図および第4図～第7図において、23は装置本体1内にその一側面に沿わせて垂直に設けられるシャーシであり、このシャーシ23の下端部には、第2主接紙ローラ14bが回転可能に軸支されている。この第2主接紙ローラ14bは、前記フロントケースプロックAに設けた第1主接紙ローラ14aと対をなすもので、この第2主接紙ローラ14bは第1主接紙ローラ14aと同一レベルに設けられており、装置本体1は、上記2つの主接紙ローラ14a、14bとリヤケースプロックBの2つの補助接紙ローラ18a、18bとの4個の接紙ローラを介して原稿または記録紙上に接触されてその紙面上を走査移動される。24はシャーシ23の下端側外面に設けられた走査移動量検出用メインエンコーダユニットである。

するブーリ29a、29bに巻き掛けられている。つまり上記メインエンコーダユニット24は、第2主接紙ローラ14bの回転によって回転される回転円板26の回転量つまり装置本体1の走査移動量を回転量検出器27によって検出するものであり、回転量検出器27は、発光素子からの光が回転円板26のスリット26aを通って受光素子に受光されたときにパルス信号を出力するようになっている。30はシャーシ23の下端側に取付けられた印字ヘッドユニットである。この印字ヘッドユニット30は、ヘッド支持フレーム31と、サーマル印字ヘッド32と、この印字ヘッド32を下方に押圧する左右一対の押しばね（コイルばね）33とからなっている。ヘッド支持フレーム31は、印字ヘッド32の背面に対向する垂直な背面板部31aおよびその上縁から前方に張出す水平な上面板部31bと、これらの先端に形成された垂直な端板部31cとから成っており、このヘッド支持フレーム31はその基盤をシャーシ23に固定して片持ち支持されている。また、こ

ニットである。このメインエンコーダユニット24は、上記第2主接紙ローラ14bの回転によって装置本体1の走査移動量を検出するもので、このメインエンコーダユニット24は、シャーシ23に固定した支輪25に回転可能に軸支された回転円板26と、この回転円板26の回転量を検出する回転量検出器27とからなっており、上記回転円板26はその外周部に全周にわたって多数のスリット26aを一定間隔で設けたものとされている。また回転量検出器27は、回転円板26の外周部をその両面側からかかえるコ字状のものであり、この回転量検出器27には、発光ダイオード等の発光素子とフォトトランジスタ等の受光素子（いずれも図示せず）が回転円板26をはさんで対向するように設けられている。この回転量検出器27はシャーシ23に固定されている。上記回転円板26は第2主接紙ローラ14bの回転により回転伝達ベルト28を介して回転されるもので、この回転伝達ベルト28は第2主接紙ローラ14bおよび回転円板26とそれぞれ一体回転

のヘッド支持フレーム31の端板部31cとシャーシ23の下端側には、互いに正対させて印字ヘッド支持輪34a、34bがそれぞれ水平に固定されている。この印字ヘッド支持輪34a、34bは、印字ヘッド32の両側面に形成した縦長の長溝35内に駆動可能に嵌合されており、印字ヘッド32はこの印字ヘッド支持輪34a、34bに、前後方向に傾動可能にかつ長溝35の長さの範囲内で上下動可能に支持されている。また、上記一対の押しばね33は同じばね力のものとされており、この各押しばね33は、ヘッド支持フレーム31の上面板部31bと印字ヘッド32の上端面との間に介在されて印字ヘッド32を下方に押圧している。この各押しばね33は、印字ヘッド32を適度な接触圧で記録紙面に接触させるためのもので、印字ヘッド32は、長溝35の長さの範囲内で上下動しながら記録紙面に常に一定の接触圧で接触するとともに、装置本体1が記録紙面に対して垂直に立った姿勢にあるときはもちろん、装置本体1が左右に傾いた場合にも、長溝

35の長さの範囲内で左右方向にローリングして常に記録紙面にフラットに接触するようになっている。また、36および37は印字ヘッド32の前後方向の傾き角を調整するための板ばねおよびヘッド傾角調整ねじであり、板ばね36は、ヘッド支持フレーム31の背面板部31aに取付けられて印字ヘッド支持軸34a、34bより下側において印字ヘッド32の背面に滑動可能に挿入し、ヘッド傾角調整ねじ37は、ヘッド支持フレーム31の背面板部31aに嵌合挿通されて印字ヘッド支持軸34a、34bより上側において印字ヘッド32の背面に滑動可能に当接している。このヘッド傾角調整ねじ37は、印字ヘッド32の前後方向の傾き角つまり記録紙に対する接觸角を調整する際にドライバによって回されるもので、このヘッド傾角調整ねじ37をねじ込み方向に回すと、印字ヘッド32が板ばね36のはね力に抗して前面側に倒れる方向に傾動し、ヘッド傾角調整ねじ37を抜き出し方向に回すと、印字ヘッド32が板ばね36のはね力によって背面側に倒れ

る方向に傾動するから、印字ヘッド32の記録紙に対する接觸角を最適な状態に調整することができる。38はリヤケース1bにヘッド傾角調整ねじ37と対向させて設けられたドライバ挿入孔38であり、ヘッド傾角の調整は、上記ドライバ挿入孔38からドライバを挿入してヘッド傾角調整ねじ37を回すことによって装置本体1の外部から行われる。なお、このヘッド傾角の調整は装置本体1内からインクテープカセット70を抜き出した状態で行なわれる。

一方、第1図および第4図～第7図において、39は装置本体1内に装填されるインクテープカセット70のインクテープ81をプリント動作に応じて巻取るインクテープ巻取りユニットであり、このインクテープ巻取りユニット39は、インクテープカセット70の巻取側スプール73を巻取り方向に回転させるインクテープ巻取軸40とのインクテープ巻取軸40の駆動モータ41からなっている。上記インクテープ巻取軸40は、インクテープカセット70の巻取側スプール73に

嵌合係合するもので、このインクテープ巻取軸40は、中心軸40aに、外周に軸方向に沿うスプール係合凸条を形成した外軸40bを嵌合固定した構造となっている。このインクテープ巻取軸40はその中心軸40aの基端を上記シャーシ23に回転可能に片持ち支承されて水平にシャーシ23に支持されている。また、巻取軸駆動モータ41は、インクテープ巻取軸40の上方に位置させてシャーシ23に形成したモータ収納部42内に固定されており、そのモータ軸41aはシャーシ23を貫通させてその外面に突出されている。そして、このモータ軸41aの先端には、巻取軸駆動ギヤ43が固定されており、この駆動ギヤ43はシャーシ23に軸支した第1中間ギヤ44および第2中間ギヤ45を介してインクテープ巻取軸40の軸端に固定した受動ギヤ46と噛合されている。また、47は巻取軸駆動モータ41の回転数からインクテープ巻取軸40の回転速度つまりインクテープ81の巻取り速度を検出する目的で設けられたモータ回転検出用エンコーダユニ

ット（以下モータエンコーダユニットという）であり、このモータエンコーダユニット47は、モータ軸41aに固定された外周部の1か所にスリット48aを有する回転円板48と、シャーシ23に固定された回転検出器49とからなっている。上記回転数検出器49は、前述した走査移動量検出用メインエンコーダユニット24の回転量検出器27と同様に、発光素子と受光素子（いずれも図示せず）とを回転円板48をはさんで対向するように設けたものであり、この回転検出器49は、回転円板48が1回転することに、つまり発光素子からの光が回転円板48のスリット48aを通って受光素子に受光されたときにパルス信号を出力する。また、50はインクテープカセット70の供給側スプール74に嵌合係合する供給側スプール係合軸であり、このスプール係合軸50は上記インクテープ巻取軸40の下方に水平に設けられている。このスプール係合軸50は、外周に軸方向に沿うスプール係合凸条を形成した中空軸とされており、シャーシ23に片持ち支持

させた固定軸 51 に回転および軸方向に滑動可能に嵌接されている。52 はスプール係合軸 50 内に押入されたコイルばねからなるブレーキばね、53 は上記固定軸にその軸方向に滑動可能に嵌合されてスプール係合軸 50 の先端部内面に摩擦接触するブレーキ部材であり、ブレーキばね 52 の一端はシャーシ 23 に受止められ、他端はブレーキ部材 53 に弾接されてこのブレーキ部材 53 をスプール係合軸 50 の先端部内面に押付けている。すなわち、このブレーキばね 52 およびブレーキ部材 53 は、インクテープカセット 70 の供給側スプール 74 に嵌入係合してこの供給側スプール 74 と一体回転するスプール係合軸 50 の回転を制動するもので、スプール係合軸 50 は、巻取側スプール 73 へのインクテープ 81 の巻取りにともなってテープ出し方向に回転する供給側スプール 74 に回転抵抗をかけて、インクテープ 81 にバックテンションを与えるようになっている。また、上記ブレーキばね 52 は、供給側スプール係合軸 50 をその先端方向に押出す作用ももつて

が取付けられており、このレンズ筒 59 内には、LED アレイ 16 により照明される原稿面からの反射光をイメージセンサ 57 の受光面に結像させる結像レンズ 60 が設けられている。上記読み取り部回路基板 56 は、基台 55 の両端に突出形成した基板支持部 55a 上に基板両端部を滑動可能に支持されて、基板巾方向（イメージセンサ 57 の画素列方向と直交する方向）に横移動可能に設けられており、イメージセンサ 57 は、この回路基板 56 を横移動させることによって、画素列が結像レンズ 60 の光軸と一致する状態に位置調整されるようになっている。このイメージセンサの位置調整機構について説明すると、第 8 図および第 9 図において、61 は読み取りユニット 54 の両端部に設けられた円板状のセンサ位置調整つまみであり、このセンサ位置調整つまみ 61 は、その中心を貫通させて上記基台 55 にねじ込み固定した支軸 62 に回転可能に軸支されている。また、このセンサ位置調整つまみ 61 の下面には、その回転中心から偏心させて円板状の回転カム 63 が一

おり、したがって上記スプール係合軸 50 は、インクテープカセット 70 が装置本体 1 内に装填されていないときは第 4 図に示すように先端方向に押出されている。

また、54 は原稿面の画像を読み取る読み取りユニットであり、この読み取りユニット 54 もシャーシ 23 に取付けられている。第 8 図および第 9 図は上記読み取りユニット 54 の詳細な構造を示したもので、55 はシャーシ 23 にそのモータ収納部 42 から前方に張出すように取付けられる横長基台であり、この基台 55 上には横長な読み取り部回路基板 56 が設けられており、この回路基板 56 の下面には、基台 55 の長さ方向中央部に設けた読み取り用開口 58 と対向させて、CCD 等の一次元イメージセンサ 57 が受光面を下に向けて取付けられている。このイメージセンサ 57 は、その画素列の方向が装置本体 1 の走査移動方向と直交するようにして、回路基板 56 の長さ方向に沿わせて取付けられている。また基台 55 の下面には、前記読み取り用開口 58 と対向させてレンズ筒 59

体に形成されており、この回転カム 63 は、回路基板 56 の両端部に設けられた横長の矩形状開口 64 内に嵌入されている。上記開口 61 の巾は、回転カム 63 の直径とほぼ同じ巾とされており、回転カム 63 はその外周面の両側部において開口 64 の両側面に密接している。なお、上記回転カム 63 の厚さは回路基板 56 の厚さとほぼ同じであり、センサ位置調整つまみ 61 はその外周部において回路基板 56 の上面に滑接して、回路基板 56 を浮上しないように押えている。上記位置調整機構は、センサ位置調整つまみ 61 を回すことによって回路基板 56 を巾方向に横移動させるもので、センサ位置調整つまみ 61 を回すと、回転カム 63 の偏心回転によって回路基板 56 が第 9 図に鉛筆で示すように横移動されるから、回路基板 56 に取付けられているイメージセンサ 57 の位置をその画素列が結像レンズ 60 の光軸に一致するように調整することができる。なお、センサ位置調整つまみ 61 は、その外周部上面に設けた調節部 61a にドライバ等の工具を嵌入させて回さ

れる。

また、第1図および第6図において、65はシャーシ23の上端部に設けられた電源ユニットであり、この電源ユニット65は、シャーシ23の上端部に形成した電池収納部66内に電源電池67を収納して構成されている。

すなわち、上記シャーシプロックCは、第2主接紙ローラ14bと、回転円板26および回転墨検出器27と前記第2主接紙ローラ14bの回転を回転円板26に伝達する機構を備えたメインエンコーダユニット24と、印字ヘッド32およびその押しばね33とヘッド傾角調整機構を備えた印字ヘッドユニット30と、インクテープ巻取軸40とその駆動モータ41およびモータエンコーダユニット47を備えたインクテープ巻取りユニット39と、回転制動機構を備えた供給側スプール係合軸50と、イメージセンサ57および結像レンズ60とイメージセンサ57の位置調整機構を備えた読み取りユニット54と、電源ユニット65とを、全てシャーシ23に設けたものである。

そして、複写装置は、上記シャーシプロックCをその第2主接紙ローラ14bがフロントケースプロックA側の第1主接紙ローラ14aと同一レベルにくるように位置決めしてリヤケース1b内に収納し、シャーシプロックCをそのシャーシ23をリヤケース1bにビス止めしてリヤケースプロックBに取付けるとともに、このリヤケースプロックBにフロントケースプロックAを接合してリヤケース1bとフロントケース1aとを嵌め合せることによって組立てられる。

次に、上記複写装置に使用されるインクテープカセット70について説明すると、このインクテープカセット70は第1図に示すような形状のものとされている。第10図はこのインクテープカセット70を分解して示したもので、71は下端面が開放する縦長箱状のカセットケースであり、このカセットケース71は、装置本体1の下端とモータ収納部42との間に収まる高さで、かつ装置本体1内のリヤケース1b側にイメージセンサ57の読み取り視野を遮らないように収まる厚さの

ものとされている。このカセットケース71は、ケース前面と一側面を形成する前部側ケース体71aと、ケース背面と他側面を形成する後部側ケース体71bとを組合わせて構成されるもので、カセットケース71の一側面には、その下端側に装置本体1の印字ヘッドユニット30をカセットケース71内に入り込ませるための縦長切欠部72が形成されている。このカセットケース71内には、その上端側と中間部とに、装置本体1のインクテープ巻取軸40および供給側スプール係合軸50にそれぞれ嵌合する巻取側スプール73および供給側スプール74とが水平に設けられている。この両スプール73、74は、内周面に輪方向に沿わせてインクテープ巻取軸40および供給側スプール係合軸50のスプール係合凸条と噛合う係合溝を形成した中空軸からなっており、この両スプール73、74は、その一端をカセットケース71の一側面に設けた捕受孔75、76に嵌合するとともに、他端をカセットケース71の他側内面に形成した捕受筋77、78に挿入して

回転可能に支持されている。また、カセットケース71の下端開放部の前後縁には、一对のテープガイド軸79a、79bが、その一端を上記切欠部72の開放端面側部に固定し、他端をカセットケース71の他側内面に形成したソケット80a、80bに嵌入固定して水平に設けられている。そして、供給側スプール74に巻付けられている熱転写インクテープ81は、上記テープガイド軸79a、79bで案内されてケース下端の開放部を通され、巻取側スプール73に巻付けられている。なお、82はカセットケース71内に設けられたテープ案内軸である。また、上記供給側スプール74の内部には、第5図に示すように、供給側スプール74を供給側スプール係合軸50に完全に嵌合させたときにこのスプール係合軸50の輪端に当接してスプール係合軸50をその基端方向に押す押込み段部83が形成されている。

一方、前記装置本体1の側面には、第1図に示すように、フロントケース1aおよびリヤケース1bの側面を切欠して形成されたカセット装填口

1cが開口されており、このカセット装填口1cには開閉蓋1dが設けられている。この開閉蓋1dは、その一側縁を、カセット装填口1cのフロントケース1a側の側縁部にヒンジ部68により軸支して、フロントケース1aに開閉可能に取付けられている。また、開閉蓋1dの他側縁部の内面には、開閉蓋1dを閉じた状態にロックするためのフック部材69aが設けられており、カセット装填口1cのリヤケース1b側の側縁部には、上記フック部材69aを掛止するロック突起69bが突設されている。上記フック部材69aは、開閉蓋1dの外面に上下方向にスライド可能に設けたロックつまみ(図示せず)のスライド操作により上下動されるもので、開閉蓋1dを閉じた状態でロックつまみを下方にスライドさせると、フック部材69aが上方からロック突起69bに嵌合して開閉蓋1dをロックし、またロックつまみを上方にスライドさせると、フック部材69aがロック突起69bの上方に離脱して開閉蓋1dのロックが解除される。

スプール保合軸50は、供給側スプール74が完全に嵌合するまでは押出し状態にあるが、供給側スプール74が完全に嵌合して供給側スプール74内の押込み段部83が供給側スプール保合軸50の軸端に当接すると、供給側スプール保合軸50がインクテープカセット70の最終装填位置までの挿入にともなってブレーキばね52を圧縮せながら第5図に示すように基端方向に押込まれる。したがって、インクテープカセット70を装置本体1内に装填すると、上記ブレーキばね52の反発力によってブレーキ部材53が供給側スプール保合軸50の軸端内面に強く押圧されるようになり、これにより供給側スプール保合軸50は、その回転を制動されて、インクテープカセット70の供給側スプール74から繰り出されるインクテープ81にバックテンションを与えるようになる。なお、装置本体1内に装填されたインクテープカセット70は、カセット装填口1cの開閉蓋1dを閉じてこの開閉蓋1dをロックすることにより、開閉蓋1dにより後側面を受止められて装填位置

そして、前記インクテープカセット70は、上記開閉蓋1dを開いてカセット装填口1cから装置本体1内に挿入装填される。このインクテープカセット70は、切欠部72が形成されている側面側から、上記切欠部72を装置本体1内の印字ヘッドユニット30に合せ、かつ巻取側スプール73および供給側スプール74の露出端を装置本体1内のインクテープ巻取軸40および供給側スプール保合軸50に対向させて挿入されるもので、インクテープカセット70を装置本体1内に挿入すると、第5図および第6図に示すように、印字ヘッドユニット30が上記切欠部72からカセットケース71内に入り込んで印字ヘッド32の先端がカセット下端の開放部に露出しているインクテープ部分にその上方から対向する状態になり、また、インクテープ巻取軸40および供給側スプール保合軸50がインクテープカセット70の巻取側スプール73および供給側スプール74にそれぞれ嵌入保合する。この場合、ブレーキばね52によって先端方向に押出されている供給側ス

に保持される。また、装置本体1内へのインクテープカセット70の装填は、モード切換スイッチ6の操作つまみ6aをイジェクトポジションEに切換えた後に、補助ローラユニット18を引下げてから行なえばよく、このようにすれば、装置本体1のカセット装填口1c側にある補助接盤ローラ18aがカセット装填の邪魔になることはない。これは、装置本体1内からインクテープカセット70を抜き出す場合も同様である。上記補助ローラユニット18の引下げは、手でローラ軸20を下方に引くことで行なわれるもので、モード切換スイッチ6の操作つまみ6aをイジェクトポジションEに切換えると、上記操作つまみ6aとともに移動するカム溝保合ピン22が昇降プレート19のカム溝21の垂直溝部21dの下にくるから、補助ローラユニット18を引下げができる。また、装置本体1内からのインクテープカセット70の抜き出しは、開閉蓋1dを開いて行なわれるが、この場合、インクテープカセット70の供給側スプール74に嵌入保合している供

給館スプール保合軸50はブレーキばね52によって先端方向に押圧されているために、開閉蓋1dを開くと、ブレーキばね52のばね力により供給側スプール保合軸50とともにインクテープカセット70がカセット装填口1c側に押出されて、インクテープカセット70の側部がカセット装填口1cから外部に突出するから、インクテープカセット70の抜き出しを容易に行なうことができる。

第11図は上記小型複写装置の構成を模式的に示したもので、この小型複写装置は、制御ユニット12およびLEDアレイ16を組込んだフロントケースプロックAと、補助ローラユニット18を組込んだリヤケースプロックBと、メインエンコーダユニット24、印字ヘッドユニット30、インクテープ巻取りユニット39、読み取りユニット54および電源ユニット65を組んだシャーシプロックCとの3つのプロックからなっており、フロントケースプロックAのLEDアレイ16およびシャーシプロックCの各ユニット24, 30.

マル印字ヘッド32の温度及び記録紙bの温度を検出する温度センサ106から温度検出信号が与えられる。更に、制御部101は、図示しないが内部に電源電圧検出器を備えている。そして、制御部101は、上記キー及びスイッチ107からの操作信号に応じてLED部107における電源ON表示用LED7a、メモリ残量表示用LED7b、速度警告用LED7cの点灯制御及びその他各部の制御動作を行なうと共に、モード切換スイッチ6により指定される読み取りモード或いはプリントモードに応じてタイミング信号発生部102に動作指令R、Pを与える。この場合、制御部101は、読み取りモードであれば動作命令R、また、プリントモードであれば動作命令Pをタイミング信号発生部102に与える。

上記タイミング信号発生部102は、制御部101から動作命令Rが与えられた場合は、一定周期のCCD露光タイミング信号を発生すると共に、メインエンコーダユニット24から与えられる移動量検出信号に同期して所定数の読み取り

47, 54および65は、それぞれリード線またはフラットケーブル等のフレキシブルコネクタ90によってフロントケースプロックAの制御ユニット12に接続されている。

次に、前記第1図における制御ユニット12の回路基板12aを中心として形成される電子回路の構成について第12図により説明する。メインエンコーダユニット24は、上記したように回転円板26、回転量検出器27等により構成されており、装置本体1の移動量に応じたパルス信号、すなわち、移動量検出信号を出力する。このメインエンコーダユニット24から出力される移動量検出信号は、制御部101、タイミング信号発生部102、速度検出部103、モータ駆動制御部104へ送られる。上記制御部101には、前記第2図及び第3図における動作開始スイッチ2、拡大プリント指定キー3、リセット/クリアキー4、読み取り巾指定スイッチ5、モード切換スイッチ6、印字速度調節つまみ8等のキー及びスイッチ105から操作信号が与えられると共に、サー

ング信号A、シリアル/パラレル変換信号B、クロックパルスC等の各種タイミング信号を発生する。また、タイミング信号発生部102は、制御部101から動作命令Pが与えられた場合は、プリントタイミング信号を発生する。そして、上記タイミング信号発生部102から出力されるCCD露光タイミング信号は一次元イメージセンサ57に、読み取りタイミング信号AはA/D変換部109に、シリアル/パラレル変換信号Bはシリアル/パラレル変換部110に、クロックパルスCはアドレスカウンタ111及び読み取り巾メモリアドレス制御部112に、それぞれ送られる。上記一次元イメージセンサ57は、原稿aからの反射光をCCD露光タイミング信号に同期して読み取り、アンプ108を介してA/D変換部109へ出力する。このA/D変換部109は、入力信号を読み取りタイミング信号Aによって白黒2値の信号に変換し、シリアル/パラレル変換部110に出力する。このシリアル/パラレル変換部110は、入力信号をシリアル/パラレル変換信号Bにより

例えば8ビット毎にパラレル信号に変換し、データセレクタ113を介して画像データメモリ114に出力する。また、データセレクタ113は、そのデータラインが上記制御部101に接続されており、制御部101からのセレクト信号Dによりシリアル／パラレル変換部110あるいは制御部101の一方が選択される。上記画像データメモリ114の書き込みアドレス（行及び桁アドレス）は、読み取り巾メモリアドレス制御部112により示され、アドレスカウンタ111により指定される。ここで、読み取り巾メモリアドレス制御部112には、前記第3図における読み取り巾指定スイッチ5の走査に基づく読み取り巾アドレスデータが制御部101から与えられ、指定読み取り巾に対応するアドレス数でアドレスカウンタ111による書き込み指定アドレスがカウントアップされる。つまり、読み取り巾指定スイッチ5に沿って描かれた巾目盛りの0点から操作つまみ5aを合わせた目盛りまでの間の画像データだけを画像データメモリ114に書き込み記憶させる。また、画像データ

メモリ114の読み出しアドレスも、制御部101よりアドレスカウンタ111を介して与えられるが、この場合も、読み取り巾メモリアドレス制御部112に設定される読み取り巾アドレス数に基づき、印字一行分の読み出しアドレスが指定される。

しかし、上記原稿の読み取りが終了し、その後、プリントモードに切換えられると、制御部101は上記したように動作命令Pをタイミング信号発生部102に出力すると共に、メインエンコーダユニット24からの移動量検出信号に応じて画像データメモリ114の記憶データをデータセレクタ113を介して順次読み出す。この制御部101は、画像データメモリ114から画像データを読み出すと、温度センサ106からのヘッド温度、電源電圧検出器の検出データ及び印字速度調節つまみ8の値を基に通電時間を設定し、プリントデータとしてサーマルヘッド駆動回路115へ出力する。このサーマルヘッド駆動回路115は、制御部101からプリントデータが送られてくると、

タイミング信号発生部102からのタイミング信号に同期してサーマル印字ヘッド32を駆動する。ここで、モータ駆動制御部104がメインエンコーダユニット24からの装置本体1の移動量検出信号に基づき、巻取り軸駆動モータ41に適切なモータ駆動パルス信号を与えることで、第6図におけるインクテープカセット70の供給側スプール74から排出されたインクテープ81が、サーマル印字ヘッド32に接しながら巻取り側スプール73に巻取られる。この場合、モータエンコーダユニット47により巻取り軸駆動モータ41の回転が検出され、上記モータエンコーダユニット47の検出信号に基づいてインクテープ81の巻取り速度が装置本体1の移動量に合った速度になるよう、上記モータ駆動制御部104により巻取り軸駆動モータ41がトルク制御される。

次に上記構成による小型複写装置の動作について説明する。原稿に記録されている文字、画像等の情報を読み取る場合には、まず、モード切換スイッチ6をOFFポジションから読み取りモード切換

ポジションRに切換える。モード切換スイッチ6を読み取りモード切換ポジションRに切換えると、電源がONされると共に、制御部101が読み取りモードになる。このとき制御部101は、LED部107における電源ON表示用LED7aを点灯し、電源がオンしたことを表示すると共に、動作命令Rをタイミング信号発生部102に与える。この際、第1図におけるカム溝係合ピン22がカム溝21の上段側水平溝部21bの始端に移動して補助ローラユニット18が下降され、補助接紙ローラ18a、18bが主接紙ローラ14a、14bよりも下方に突出する。しかして、ユーザーは、この状態で第7図に示すように装置本体1の前面に設けられている動作開始スイッチ2をONさせ、装置本体1を、主接紙ローラ14a、14b及び補助接紙ローラ18a、18bを原稿a面に接触させて置く。このように、装置本体1を原稿a面上に置くと、紙面検知スイッチ17が原稿a面に当接してONし、この紙面検知スイッチ17と上記動作開始スイッチ2との両方のスイッ

チのONによって制御部101が読み取り動作状態となってLEDアレイ16が点灯する。なお、これは後述するプリントを行なう場合も同様であり、この場合も制御部101は、紙面検知スイッチ17と動作開始スイッチ2との両方がONした時にプリント動作状態となる。この後、装置本体1を原稿a上に置いた状態のまま、原稿a面に沿わせて前方(装置本体1の前面方向)に手動で走査移動させると、LEDアレイ16からの投射光が原稿a面に照射され、その反射光が結像レンズ60を介して一次元イメージセンサ57に入射する。一方、原稿a面に接して装置本体1の移動に伴って回転する各接紙ローラのうち、第2接紙ローラ14bの回転によってメインエンコーダユニット24の回転円板26が回転する。この回転円板26の回転により、回転量検出器27から装置本体1の移動量に応じたパルス信号が出力される。つまり、この回転量検出器27から出力されるパルス信号が第12図におけるメインエンコーダユニット24の出力となり、複写装置本体1に対する

る移動量検出信号として制御部101、タイミング信号発生部102、速度検出部103、モータ駆動制御部104へ送られる。

一方、タイミング信号発生部102は、制御部101から読み取り動作命令Rが与えられると、一定周期のCCD露光タイミング信号を発生し、一次元イメージセンサ57に与えると共に、メインエンコーダユニット24から与えられる移動量検出信号に応じて、読み取りタイミング信号A及びシリアル/パラレル変換信号Bを発生し、A/D変換部109及びシリアル/パラレル変換部110へそれぞれ出力する。更にタイミング信号発生部102は、上記シリアル/パラレル変換信号Bに同期してクロックパルスCを発生し、アドレスカウンタ111及び読み取り巾メモリアドレス制御部112に出力する。

しかし、上記一次元イメージセンサ57は、タイミング信号発生部102から上記CCD露光タイミング信号に同期して原稿a面からの反射光に応じた信号、すなわち画像信号を出力する。こ

の一次元イメージセンサ57の出力信号は、アンプ108により増幅されてA/D変換部109へ送られる。このA/D変換部109は、アンプ108を介して送られてくる画像信号をタイミング信号発生部102からの読み取りタイミング信号Aに同期してシリアルなデジタル信号に変換し、シリアル/パラレル変換部110へ出力する。このシリアル/パラレル変換部110は、タイミング信号発生部102から送られてくるシリアル/パラレル変換信号Bに同期してシリアル入力信号を例えば8ビット毎にパラレルの画像データに変換し、データセレクタ113へ出力する。このデータセレクタ113は、読み取りモードが指定されている場合には、制御部101からのセレクトDによりシリアル/パラレル変換部110側に切換えられている。従って、上記シリアル/パラレル変換部110から出力される画像データは、データセレクタ113を介して画像データメモリ114へ送られる。この画像データメモリ114の書き込みアドレスは、アドレスカウンタ111の

カウント出力により指定される。このアドレスカウンタ111は、タイミング信号発生部102からのクロックパルスCにより順次桁アドレスが「+1」され、画像データメモリ114のアドレスを指定する。そして、タイミング信号発生部102は、画像データメモリ114に1行分の画像データが書き込まれると、タイミング信号の発生を停止し、メインエンコーダユニット24から次の移動量検出信号が送られてくるまで待機状態となる。この場合、読み取り巾指定スイッチ5により予め原稿aの読み取り巾が指定されると、その指定巾に換算したアドレス数データが読み取り巾メモリアドレス制御部112にセットされる。すると、アドレスカウンタ111は、上記指定読み取り巾に対応のアドレス数データに1行分の書き込みアドレスを一致させ、画像データメモリ114に対し繰返しアドレス指定する。つまり、イメージセンサ57で読み取った画像データのうち、第2図における巾目盛りの0点から操作つまみ5aを合わせた目盛りまでの間の画像データだけが、上記画像デ

ータメモリ114に書き込まれることになる。以下同様の動作が繰返され、原稿aから読み取った画像データが画像データメモリ114に順次書き込まれる。

ここで、上記原稿aの読み取りを行なう場合には、補助接紙ローラ18a, 18bを主接紙ローラ14a, 14bよりも下方に突出させているので、装置本体1は、第7図に示すように、前方にやや傾いた姿勢で走査移動されることになる。したがって、装置下面に突出している印字ヘッド32の先端及びその下のインクテープ81が原稿a面に接触することは無く、印字ヘッド32の摩耗及びインクテープ81による原稿a面の汚れは防止される。

なお、速度検出部103においては、メインエンコーダユニット24からのパルス信号に基づいて装置本体1の移動速度が検出され、その移動速度が速過ぎると、LED部107における速度警告用LED7cが点灯され、ユーザに対し警報が行なわれる。これは、プリント時においても同様で

置く。このように、装置本体1を記録紙b上に置くと、紙面検知スイッチ17が記録紙b面に当接してONすると共に、印字ヘッド32がインクテープ81を介して記録紙b面に接触する。この場合、印字ヘッド32は、記録紙bとの接触により押しばね33を圧縮させながら各接紙ローラ14a, 14b及び18a, 18bの記録紙接触レベルまで上昇し、押しばね33の反発力によって記録紙b面に押圧接触される。この後、動作開始スイッチ2をONさせて、複写装置本体1を記録紙b面に沿わせて前方に走査移動させると、この装置本体1の移動に伴い上記各接紙ローラが回転し、第2主接紙ローラ14bの回転が回転伝達ベルト28を介して回転円板26に伝達される。この回転円板26の回転に伴ってメインエンコーダユニット24から上記読み取り時と同様に装置本体1の移動速度に応じた移動量検出信号が取出される。

上記装置本体1の移動を開始することでメインエンコーダユニット24から移動量検出信号が出力されると、モータ駆動制御部104により巻取

ある。また、上記の読み取り途中で画像データメモリ114のメモリ残量が少なくなると、メモリ残量表示用LED7bが点灯され、メモリ残量が少ないことが報知される。

次に、上記のようにして原稿aから読み取った画像データをプリント・アウトする場合の動作について説明する。画像データをプリント・アウトする場合は、モード切換スイッチ6をプリントモード切換ポジションPに切換える。このモード切換スイッチ6をプリントモード切換ポジションPに切換えると、制御部101はプリントモードとなり、セレクト信号Dによりデータセレクタ113を制御部101側に切換える。この際、カム溝係合ピン22がカム溝21の下段側水平溝部21aに移動して補助ローラユニット18が上昇され、補助接紙ローラ18a, 18bが主接紙ローラ14a, 14bと同一突出レベルとなる。この状態でユーザーは、第6図で示すように、複写装置本体1を各接紙ローラ14a, 14b及び18a, 18bをノート等の外部記録紙b面に接触させて

軸駆動モータ41が駆動される。これにより、インクテープ巻取軸40が回転駆動されてインクテープカセット70の巻取側スプール73が巻取方向に回転され、供給側スプール74から繰り出されるインクテープ81がサーマル印字ヘッド32の発熱部を通り上記巻取側スプール73に巻取られる。この場合、モータエンコーダユニット47により巻取軸駆動モータ41の回転が検出され、モータ駆動制御部104は、上記モータエンコーダユニット47から与えられる検出信号に基づき、インクテープ81の巻取り速度が装置本体1の移動量、つまりプリント速度に合うように巻取軸駆動モータ41のトルク制御を行なう。このモータトルク制御は、巻取軸駆動モータ41が1回転する毎に、モータ駆動制御部104において、モータエンコーダユニット47からのパルス信号周波と、メインエンコーダユニット24からのエンコーダパルスの数とを比較して行なわれるもので、上記モータ41が1回転する間にメインエンコーダユニット24から与えられるエンコーダパルス

数が所定値よりも多い場合（装置本体1の移動速度がテープ巻取り速度よりも速い場合）には、モータ駆動パルス数を増加させてテープ巻取り速度を增速させ、また、エンコーダパルス数が所定値よりも少ない場合（装置本体1の移動速度がテープ巻取り速度より遅い場合）には、モータ駆動パルス数を減少させてテープ巻取り速度を減速させる。これは、巻取側スプール73のテープ巻取り径が大きくなつてモータ41にかかる負荷が増加した場合も同様であり、モータ41にかかる負荷の増加によりテープ巻取り速度が遅くなつた場合にも、モータ41が1回転する毎のエンコーダパルス数が所定値よりも多くなるから、この時も自動的にモータ41のトルクが増加されテープ巻取り速度が增速される。

一方、上記制御部 101 は、メインエンコーダユニット 24 から送られてくる移動量検出信号に応じて、タイミング信号発生部 102 に 1 行印字命令を出力し、このタイミング信号発生部 102 は、サーマルヘッド駆動回路 115 にプリントタ

に伴い、巻取軸駆動モータ41によりインクテーブ巻取軸40が回転駆動され、供給側スプール74からインクテープ81の未使用部分が送り出され、上記サーマル印字ヘッド32によりプリントされた後の使用済み部分が巻取側スプール73に順次巻き取られる。上記のようにして複写装置本体1を移動操作することにより、画像データメモリ114に記憶されている画像データが記録紙bに順次プリントされる。

なお、記録紙にプリントされる画像データは、原稿から読み取り巾と同一巾でプリントされるが、予め第2図における拡大プリント指定キー3により拡大プリントを指定すれば、上記画像データを所定比率の巾に拡大させてプリントすることができる。また、プリント終了後に、リセット／クリアキー4を押せば、同一画像データを繰返しプリントすることができる。ここで、上記小型複写装置は、印字ヘッド32を押しつぶね33のねね力で記録紙に押圧接触させているので、印字ヘッド32を常に一定の圧力で記録紙に接触させ

タイミング信号を出力する。また、制御部101は、メインエンコーダユニット24からの移動基検出信号に応じて画像データメモリ114の行及び折アドレスを順次指定し、画像データメモリ114に記憶されている画像データをデータセレクタ113を介して読み出し、サーマルヘッド駆動回路115へ1行分づつ出力する。更に制御部101は、1行印字命令が与えられると、印字データの黒字数、温度センサ106からのヘッド温度、電源電圧検出器の電圧検出信号、印字濃度調節つまり8の調節値等を基にサーマル印字ヘッド32に対する通電時間を設定し、画像データメモリ114から読み出した画像データをサーマルヘッド駆動回路115へ出力する。このサーマルヘッド駆動回路115は、制御部101からの制御データ及びタイミング信号発生部102からのタイミング信号に従ってサーマル印字ヘッド32を駆動する。このサーマル印字ヘッド32の駆動により、画像データがインクテープ81を介して記録紙b₁上に熱転写される。この場合、装置本体1の移動

てプリントを行なわせることができる。さらに、印字ヘッド32をローリング回動可能に設けているため、走査移動中に装置本体1が左右に傾いても、印字ヘッド32は装置本体1の傾き角だけ反対側にローリングして常にフラットに記録紙b面に接触するから、プリント画像がかずれたりすることはない。

しかし、上記小型複写装置においては、メインエンコーダユニット24と、印字ヘッド32とその押しばね33を備えた印字ヘッドユニット30と、インクテープ巻取軸40とその駆動モータ41およびこのモータ41の回転をインクテープ巻取軸40に伝達する中間ギヤ44、45からなる巻取軸駆動機構を備えたインクテープ巻取りユニット39と、モータエンコーダユニット47と、イメージセンサ57とその位置調整機構を備えた読み取りユニット54と、電源ユニット65とを、全て共通のシャーシ23に設けて1つのプロックCとしているから、このシャーシプロックCを装置本体1に組込むことによって、上記メイン

エンコーダユニット24、印字ヘッドユニット30、インクテープ巻取りユニット39、モータエンコーダユニット47、供給側スプール係合軸50、読み取りユニット54および電源ユニット65を全て一括して装置本体1内に組込むことができ、したがって、上記各構成部品を1つ1つ位置調整して装置本体内に組んでいる従来の小型複写装置に比べて、その組立てを能率よく行なって品質性を向上させることができる。さらに、上記実施例では、上記印字ヘッドユニット30を、印字ヘッド32を押しづね33によって記録紙bに接触させる構成としているから、印字ヘッド32を押しづね33のばね力によって過度な接触圧で記録紙bに接触させることができ、したがって印字ヘッドを厳密に位置決めして設置する必要はないから、印字ヘッド32の組込みも容易に行なうことができる。

なお、上記実施例では、インクテープ巻取り速度を検出するためのモータエンコーダユニット47を巻取軸駆動モータ41の回転を検出するも

字ヘッドユニット30とインクテープ巻取りユニット39および読み取りユニット54をシャーシ23に設けたものであればよい。また、上記実施例では、シャーシプロックCを、装置本体1のリヤケース1b内に収納しているが、このシャーシプロックCは、その外周に装置本体1の外周面を形成する中間ケース部を設けて、この中間ケース部をフロントケース1aとリヤケース1bとの間に挟持させててもよい。

(発明の効果)

この発明の小型複写装置は上述したような構成のものであるから、従来の小型複写装置に比べて組立てを能率よく行なって品質性を向上させることができる。

4. 図面の簡単な説明

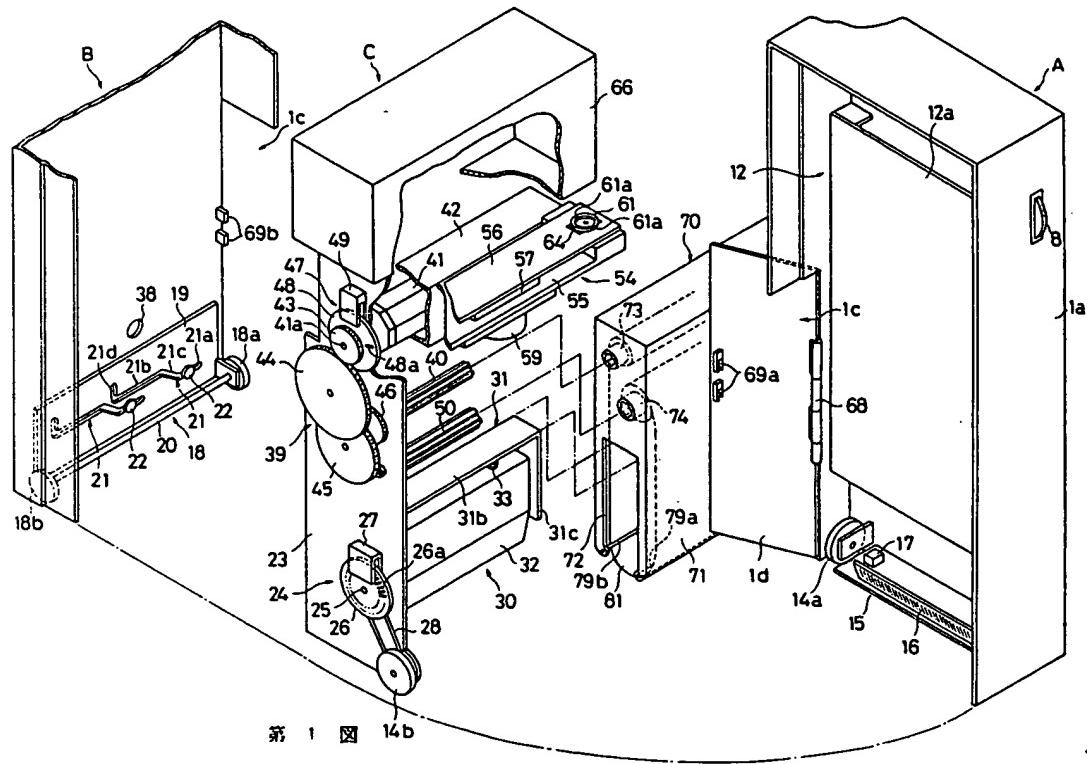
図面はこの発明の小型複写装置の一実施例を示したもので、第1図は分解斜視図、第2図および第3図は正面図および背面図、第4図は横断正面図、第5図はインクテープカセットを装填した状態の横断正面図、第6図および第7図はプリント

のとしているが、このモータエンコーダユニット47は、インクテープ巻取軸40の回転を検出するものでもよい。また上記実施例では、インクテープ巻取軸40をモータ41によって駆動しているが、このインクテープ巻取軸40の駆動機構は、例えば第2主接紙ローラ14bの回転をベルト機構またはギヤ機構を介してインクテープ巻取軸40に伝達する構成としてもよく、その場合は上記モータエンコーダユニット47は不要である。さらに上記実施例では、メインエンコーダユニット24の回転円板26を第2主接紙ローラ14bと別に設けてベルト駆動しているが、このメインエンコーダユニット24は第2主接紙ローラ14bの回転を直接検出するものでもよい。さらに、上記実施例では、メインエンコーダユニット24と供給側スプール係合軸50と電源ユニット65もシャーシ23に設けているが、これらは装置本体1のフロントケース1aまたはリヤケース1b内に設けててもよい。つまり、シャーシプロックCは、少なくとも複写装置の主要構成部品である印

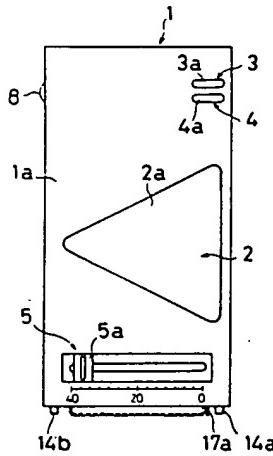
状態および読み取り状態の横断側面図、第8図および第9図は読み取りユニットの横断正面図および平面図、第10図はインクテープカセットの分解斜視図、第11図は小型複写装置の基本構成を示す模式図、第12図は小型複写装置の電子回路を示すプロック図である。

1…装置本体、A…フロントケースプロック、1a…フロントケース、12…制御ユニット、B…リヤケースプロック、1b…リヤケース、C…センタプロック、23…シャーシ、24…メインエンコーダユニット、30…印字ヘッドユニット、32…印字ヘッド、33…押しづね、39…インクテープ巻取りユニット、40…インクテープ巻取軸、41…巻取軸駆動モータ、47…モータエンコーダユニット、50…供給側スプール係合軸、54…読み取りユニット、57…イメージセンサ、65…電源ユニット、70…インクテープカセット、73…巻取側スプール、74…供給側スプール、81…インクテープ。

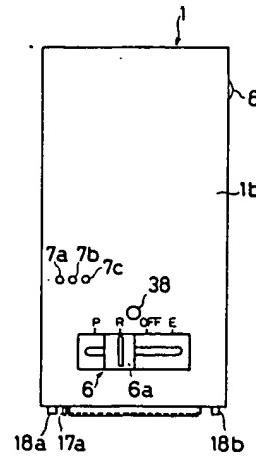
出願人代本人 弁理士 鈴江武乃



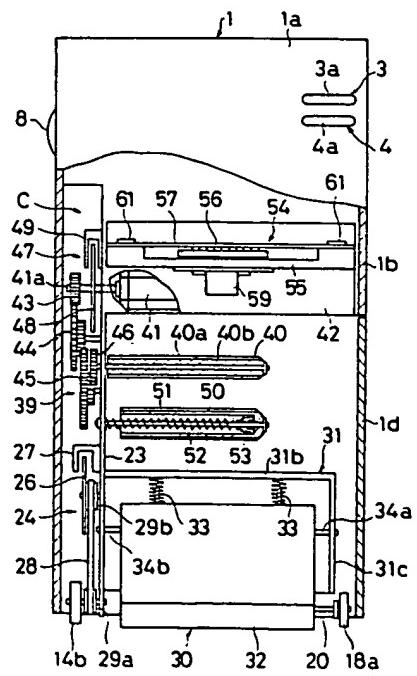
第 1 図 14b



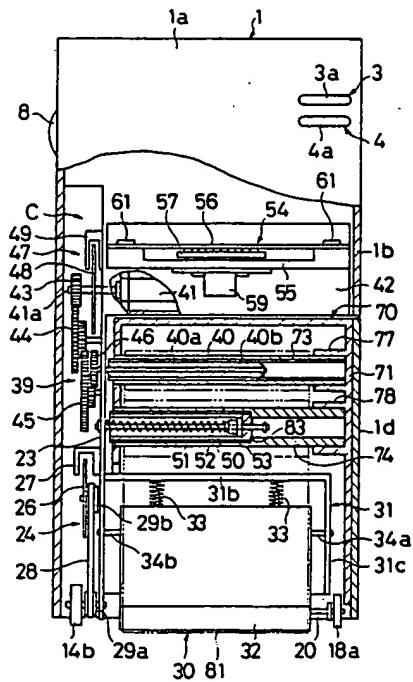
第 2 回



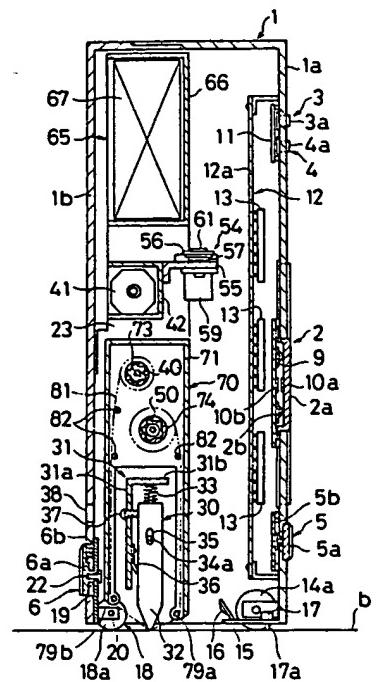
第 3 四



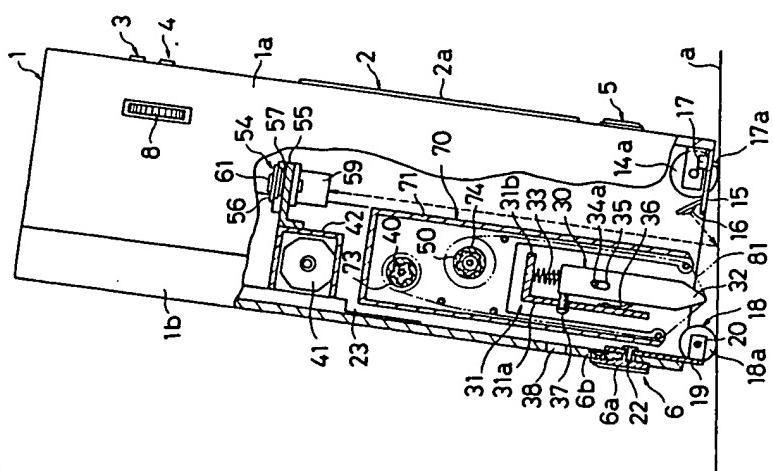
· 第 4 図



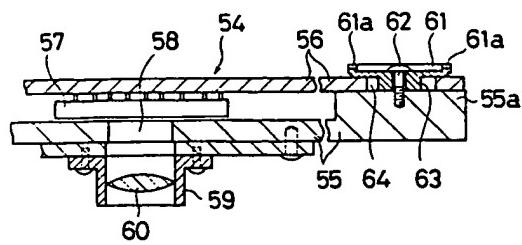
第5図



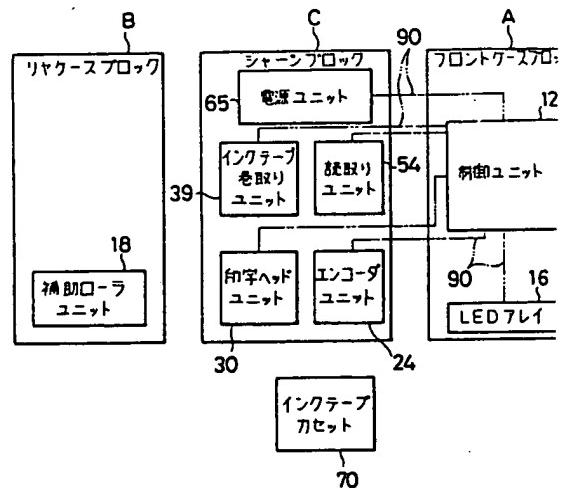
第6図



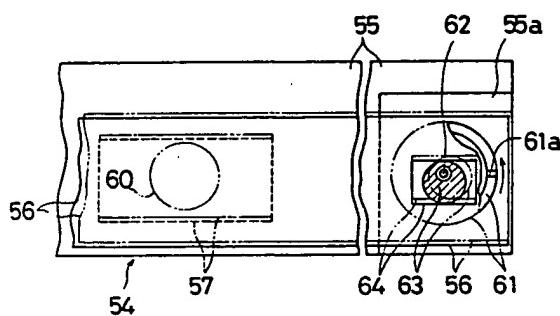
第7図



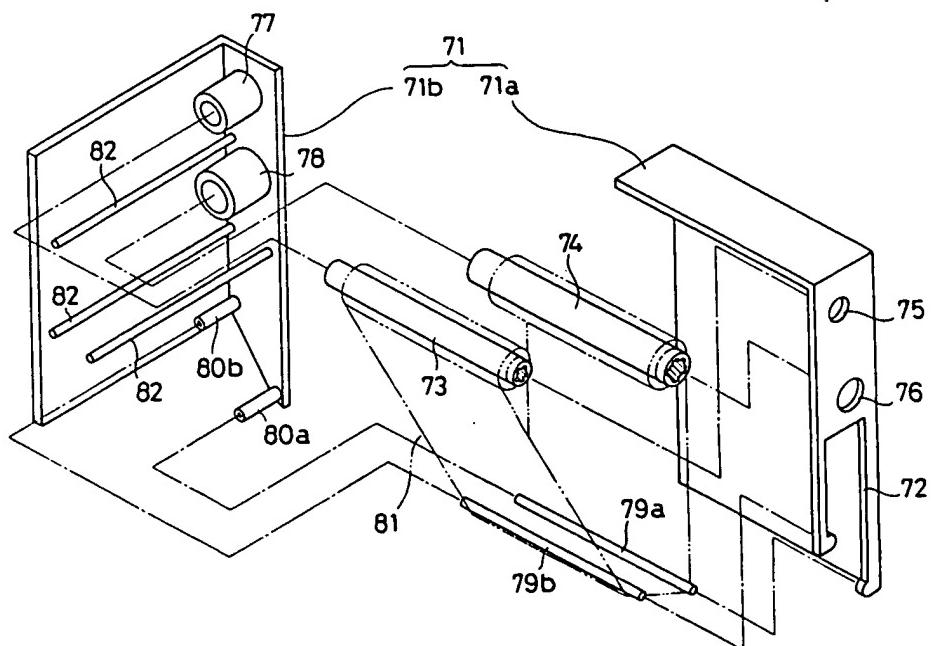
第 8 図



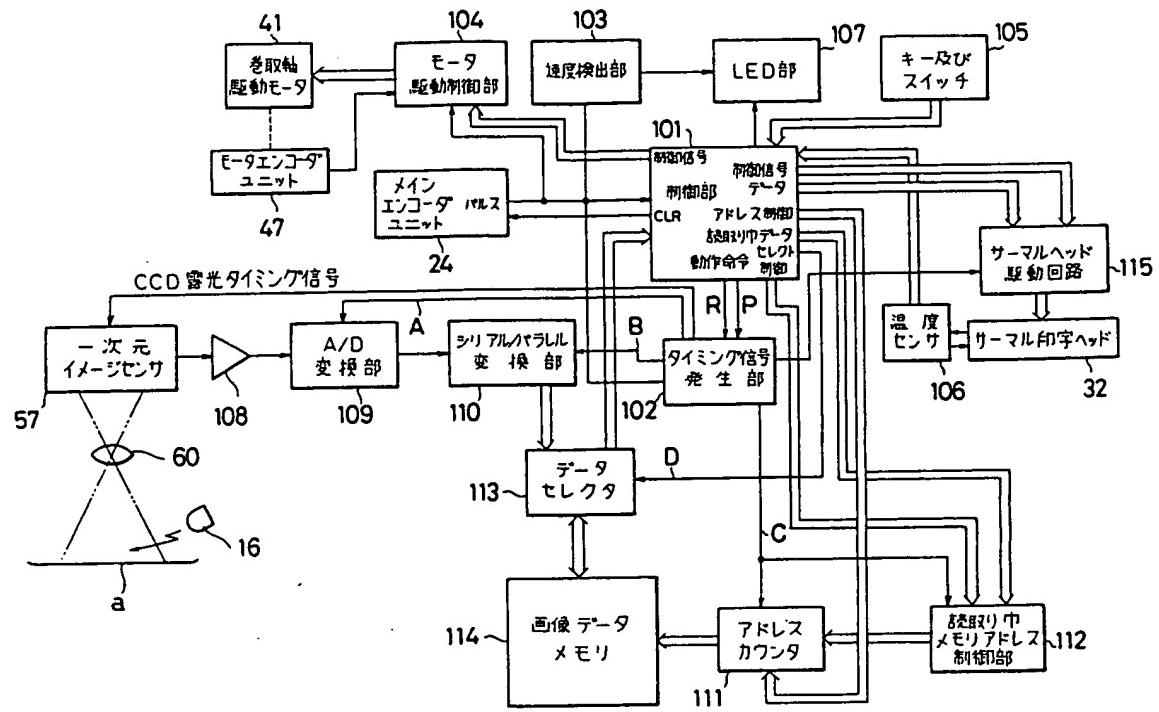
第 11 図



第 9 図



第 10 図



第 12 図